

年 組 ( ) 名前

サイン

◆2020年に生まれた子どもの数は約84万人で、5年連続で過去最少となったことが分かりました。

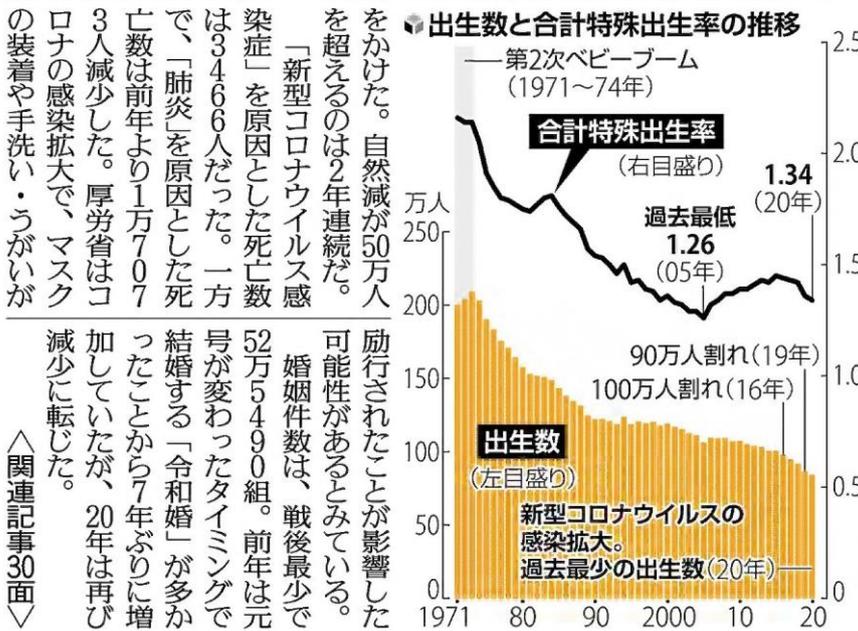
(2021年6月5日 読売新聞朝刊より)

# 出生84万人 5年連続最少

## 20年 人口自然減は最大

出生率1.34

厚生労働省は4日、2020年の人口動態統計(概数)を発表した。生まれた子どもの数(出生数)は84万8322人で、5年連続で過去最少を更新した。1人の女性が生涯に産む子どもの推計人数を示す「合計特殊出生率」も1.34で5年連続で低下した。死亡数から出生数を引いた人口の自然減は、53万1816人となり、過去最大となった。出生数を5歳ごとの母親の年齢別で見ると、45歳以上でわずかに増加したものの、44歳以下のすべての年代で前年より減少した。全体の死亡数は11年ぶりに減り137万2648人だったが、出生数の減少が大きかったことが人口減に拍車を



●今後、さらに少子化が進むことを示唆するデータ

|                          |           | 前年同期比  |
|--------------------------|-----------|--------|
| 婚姻数【2020年】               | 約52万5000組 | 12%減 ↓ |
| 妊娠届【2020年】               | 約87万2000件 | 5%減 ↓  |
| 出生数(外国人含む)【2021年1~3月・速報】 | 約19万3000人 | 9%減 ↓  |

※厚生労働省の調査を基に作成

【1】「合計特殊出生率」を説明しましょう。

【2】「肺炎」を原因とした死亡数が前年より減少した理由について、厚労省はどうみていますか。

【発展問題】日本ではなぜ、出生数が減っているのでしょうか。あなたの考えを書きましょう。